

シンポジウム

【建築CPD：6単位】

「大振幅地震動に対する耐震性能評価」

—実験データに基づく建築物の損傷予測：部材フラジリティと修復コストのDB化を目指して

＜主催＞日本建築学会 構造委員会 振動運営委員会 大地震時耐震性能評価小委員会

＜後援（予定）＞日本建築構造技術者協会, 日本鋼構造協会, 日本地震工学会, 日本免震構造協会

1995年兵庫県南部地震以来、日本では建築基準法が規定する地震動レベルを大幅に超過する地震動が繰り返し観測されてきた。幸いにして神戸以降、大都市での大規模な地震被害の発生は免れているが、比較的近い将来の襲来が予想される南海トラフ地震を控えて、都市での大規模な地震被害がいつ発生してもおかしくはない。首都圏では、将来的にM8級の相模トラフ地震の発生が懸念されており、近い将来にM7級の直下地震が首都圏のどこかで発生する可能性は高いとされている。このような認識のもとで、従来から地震学の知識に基づく大地震動の予測や建物応答の評価は実施してきたが、それによって生ずる損傷や損失の定量的な評価は未着手であった。以上の状況を踏まえて、実験データのエビデンスに基づく損傷の評価法を整備することとした。本催しでは、その研究の現状を報告するとともに今後の展望について広く議論する。

日時：2021年12月3日（金）10:00～17:00

会場：①建築会館ホール（東京都港区芝5-26-20）および②オンライン（Zoomミーティング）

定員・参加費・申込方法等

	① 建築会館ホール	② オンライン（Zoomミーティング）
定員	60名	90名
参加費	会員：5,000円、会員外：6,000円、後援団体会員：5,500円、学生（会員/会員外）3,000円	
申込方法	クレジット決済によるWeb事前申込	
申込URL	https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=653370	https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=653371
申込締切	2021年11月24日（水）	

申込・参加にあたっての注意事項

- ・各申込ページに記載の注意事項をご確認のうえ、お申込み・ご参加ください。
- ・お申込後の返金や参加方法のご変更はいたしかねます。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染状況等により、ご参加をすべてオンライン（Zoom等）に変更する場合があります。その場合、申込者にはメールでご案内を差し上げますのでご理解・ご協力をお願いいたします。
- ・①でご参加の方にはシンポジウム当日、会場にて資料を一部お渡しします。②でご参加の方には参加受付締切後、「ご注文内容確認」画面の配送先住所に資料を一部お送りします。*国内限定
- ・領収証はお申込み完了後にお届けする「お申込み受付完了通知」メールからダウンロードしてください。

問合せ：日本建築学会事務局 事業グループ 高畑 TEL:03-3456-2057

建築会館ホール参加者へのお願い：新型コロナウイルス感染症の予防および拡散防止について

- ① 発熱、咳等の症状がみられる方は、体調を最優先していただき、ご来場を控えてください。
- ② マスクを着用のうえご来場ください。
- ③ 発熱が認められる場合、受講をお断りしますので、ご理解・ご了承ください。
- ④ 手指の消毒、咳エチケットの励行にご協力ください。
- ⑤ 整列時や入退館時には人と人との適切な距離の確保にご協力ください。
- ⑥ 過去2週間以内に、引き続き感染が拡大している国・地域に訪問歴がある場合はご来場を控えてください。
- ⑦ 万一、参加者の感染が確認された場合で、保健当局において他の受講者が濃厚接触者に該当すると判断された場合、受講者の連絡先等の情報提供が要請されることがあります。公益性の観点から、このような要請があった場合は保健当局等に対して必要な情報を提供させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

シンポジウム「大振幅地震動に対する耐震性能評価」

－実験データに基づく建築物の損傷予測：部材フラジリティと修復コストのDB化を目指して

【プログラム】 *講師・講演タイトルは予定です。一部変更となる場合があります。

1. 主旨説明： 岡野 創（大地震時耐震性能評価小委員会主査／千葉大学） 10:00～10:10(10分)

主題解説：

2. 地震動評価

2.1 断層モデルによる南海トラフ・相模トラフ地震の地震動評価
宮腰淳一（清水建設） 10:10～10:35(25分)

2.2 建物の応答評価における地震動評価結果の活用
糸井達哉（東京大学） 10:35～11:00(25分)

3. S造

3.1 S造の部材フラジリティを考慮した評価手法 伊山 潤（東京大学） 11:00～11:25(25分)

3.2 S造建物の大振幅地震動に対する評価事例 谷 翼（大成建設） 11:25～11:50(25分)

< 昼 休 み (6 0 分) >

特別講演：

4. レベル2を超える直下型地震動に対する大震研の取り組み
西村勝尚（摂南大学） 12:50～13:30(40分)

主題解説：

5. RC造

5.1 RC造骨組の履歴特性と柱梁接合部の挙動 岡野 創（前掲） 13:30～13:55(25分)

5.2 RC建物の大振幅予測地震動に対する応答 白井和貴（北海道大学） 13:55～14:20(25分)

5.3 RC柱梁接合部を考慮した部材フラジリティと建物の損傷評価・修復費評価
竹内 崇（神戸大学） 14:20～14:50(30分)

6. 2次部材

6.1 2次部材の耐震性能に関する実験研究の進展と評価技術の現状
長江拓也（名古屋大学） 14:50～15:15(25分)

6.2 2次部材を考慮した建物修復費の評価—損傷および修復コストの評価方法—
貞許美和（日建設計） 15:15～15:40(25分)

< 休 憩 (1 0 分) >

7. 総合討論： ゲストパネリスト 北村春幸（東京理科大学）・ 15:50～16:50(60分)
上記講演者
[進行]永野正行（東京理科大学）

8. まとめ： 梶原浩一（防災科学技術研究所） 16:50～17:00(10分)

[司会] 土肥 博（NTTアーバンソリューションズ総合研究所）、石原 直（国土技術政策総合研究所）

[記録] 久家英夫（竹中工務店）、杉野未奈（京都大学）